

1 調査名称：（高松市）総合都市交通体系調査

2 調査主体：高松市

3 調査圏域：高松市管内

4 調査期間：平成29年度

5 調査概要：

人口減少、少子・超高齢社会の到来に備え、持続可能な公共交通ネットワークの再構築を目指し、「コンパクト・プラス・ネットワーク」のまちづくりの考えの下、鉄道を公共交通の基軸として、主要駅と郊外部地域を有機的に連絡するフィーダー交通について、既存データや沿線住民に対する意向調査等により、その需要予測と適正なルート・サービス水準を検討するとともに、将来に向けた公共交通として、定時性・速達性が期待できる新交通システム等の導入も視野に入れたサービスレベル向上策について検討を行い、取りまとめを行った。

I 調査概要

1 調査名称

(高松市) 総合都市交通体系調査

2 報告書目次

1 業務概要

- 1.1 業務目的
- 1.2 業務概要
- 1.3 業務構成
- 1.4 業務実施方針

2 計画準備

- 2.1 本業務の調査対象箇所
- 2.2 業務の全体計画
- 2.3 資料収集

3 業務計画書作成

4 現状把握・分析

- 4.1 上位・関連計画の整理
- 4.2 本業務と密接にかかわる他業務の整理
- 4.3 バス利用実態の詳細分析
- 4.4 WEB アンケート調査

5 導入ルート等の検討

- 5.1 交通結節拠点の抽出
- 5.2 複数の視点に基づく再編案の検討・評価

6 効果検証

- 6.1 交通需要予測モデルの再構築
- 6.2 需要予測モデルによる再編案の効果検証

7 アクションプランの検討

7.1 路線再編に関する“トリガー”の明確化

7.1.1 路線再編にあたっての基本的な考え方

7.1.2 系統別トリガーの設定

7.2 新交通システムの可能性検討

7.3 高松市におけるバス路線網の再編を実現するための 補助スキーム改定案の検討

7.3.1 現状の補助要綱

7.3.2 現状の補助交付状況と再編による補助可能性

7.3.3 求められる補助スキームの考え方

7.3.4 系統別需要予測に基づく再編後の補助状況の確認

7.3.5 改定案に関する方向性

8 協議会等運営補助

3 調査体制

高松市総合都市交通計画推進協議会

(会長 大阪大学大学院工学研究科教授 土井 健司)

(事務局) 高松市市民政策局コンパクト・エコシティ推進部交通政策課

4 委員会名簿等：

高松市総合都市交通計画推進協議会委員名簿

区分	氏名	役職等	備考
会長	土井 健司	大阪大学大学院工学研究科教授	(1)号委員
副会長	紀伊 雅敦	香川大学工学部安全システム建設工学科准教授	
委員	松島 裕彦	四国旅客鉄道㈱代表取締役専務総合企画本部長	(2)号委員
	川上 純一	高松琴平電気鉄道㈱代表取締役専務	
	前谷 勉	(一社)香川県トラック協会専務理事	
	野口 和之	(一社)香川県バス協会乗合委員会委員長	
	芦田 克也	高松タクシー協会会長	
	宮武 寛	高松商工会議所常務理事・事務局長	(3)号委員
	古川 康造	高松中央商店街振興組合連合会理事長	
	今井 邦郎	公益財団法人高松観光コンベンション・ビューロー 専務理事	(4)号委員
	土井 信幸	高松市コミュニティ協議会連合会理事	
	宮本 馨	国土交通省四国地方整備局香川河川国道事務所長	(5)号委員
	塚本 文	国土交通省四国地方整備局建政部都市・住宅整備課長	
	小川 剛史	国土交通省四国運輸局交通政策部交通企画課長	
	井手 克樹	国土交通省四国運輸局自動車交通部旅客課長	
	桑原 仁	香川県交流推進部交通政策課長	
	濱波 稔	香川県警察本部交通部参事官兼交通規制課長	(6)号委員
	宮本 美枝子	“ぐるっと高松”公共交通を育てる会代表	
	奥廣 晴香	公募委員	
	鎌田 浩二	公募委員	
	泉保 安夫	公募委員	
	高木 美枝子	公募委員	

(平成29年4月1日現在)

※敬称略

高松市総合都市交通計画推進協議会委員名簿

区分	氏名	役職等	備考
会長	土井 健司	大阪大学大学院工学研究科教授	(1)号委員
副会長	紀伊 雅敦	香川大学工学部安全システム建設工学科准教授	
委員	長戸 正二	四国旅客鉄道(株)取締役総合企画本部副本部長	(2)号委員
	川上 純一	高松琴平電気鉄道(株)代表取締役専務	
	前谷 勉	(一社)香川県トラック協会専務理事	
	野口 和之	(一社)香川県バス協会乗合委員会委員長	
	芦田 克也	高松タクシー協会会長	
	宮武 寛	高松商工会議所常務理事・事務局長	(3)号委員
	古川 康造	高松中央商店街振興組合連合会理事長	
	今井 邦郎	公益財団法人高松観光コンベンション・ビューロー 専務理事	(4)号委員
	土井 信幸	高松市コミュニティ協議会連合会理事	
	宮本 馨	国土交通省四国地方整備局香川河川国道事務所長	(5)号委員
	塚本 文	国土交通省四国地方整備局建政部都市・住宅整備課長	
	小川 剛史	国土交通省四国運輸局交通政策部交通企画課長	
	井手 克樹	国土交通省四国運輸局自動車交通部旅客課長	
	桑原 仁	香川県交流推進部交通政策課長	
	濱波 稔	香川県警察本部交通部参事官兼交通規制課長	(6)号委員
	宮本 美枝子	“ぐるっと高松”公共交通を育てる会代表	
	奥廣 晴香	公募委員	
	鎌田 浩二	公募委員	
	泉保 安夫	公募委員	
	高木 美枝子	公募委員	

(平成29年7月5日現在)

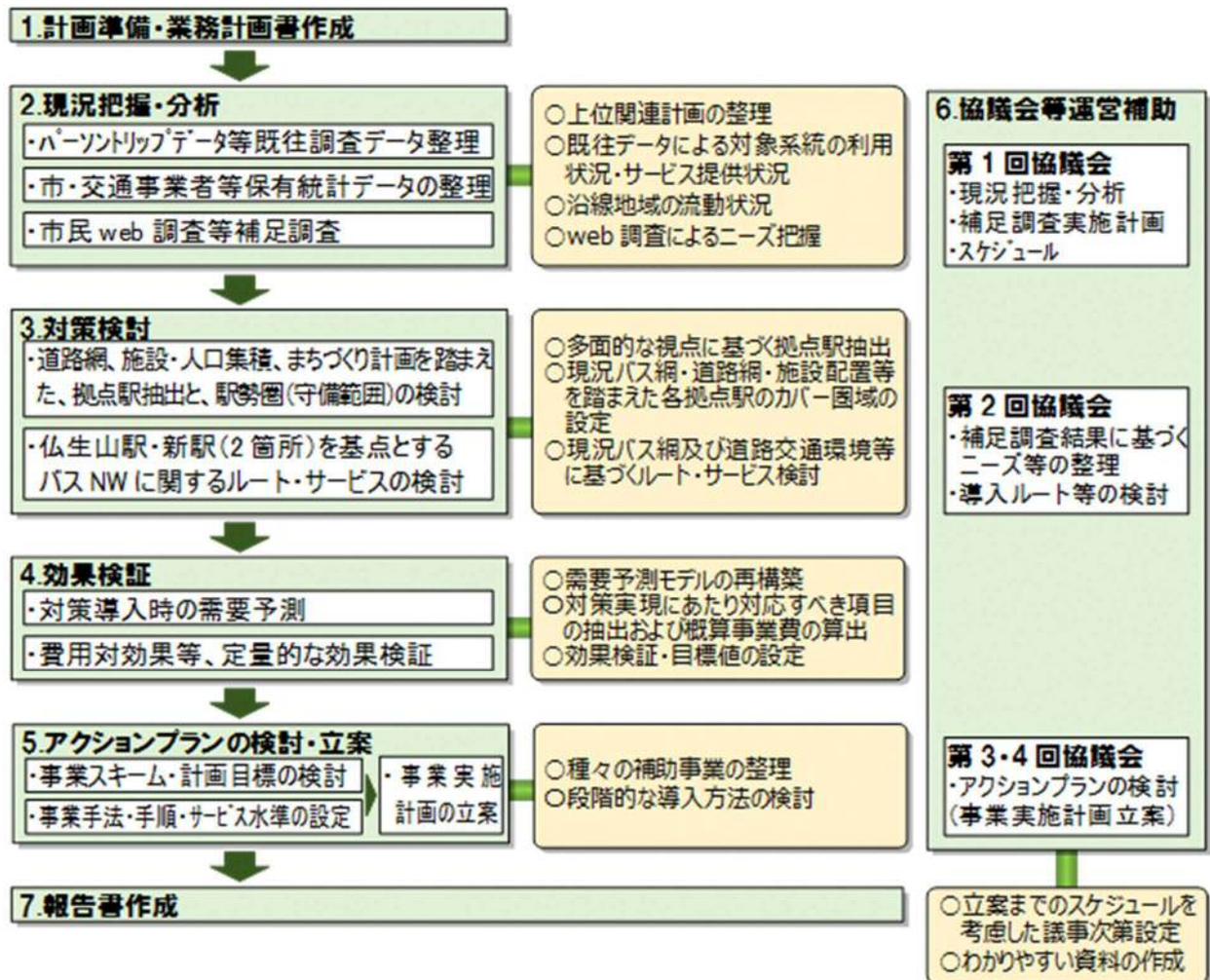
※敬称略

II 調査成果

1 調査目的

本業務は、鉄道を公共交通の基軸として、主要駅と郊外部地域を有機的に連絡するフィーダー交通について、既存データや沿線住民に対する意向調査等により、その需要予測と適正なルート・サービス水準を検討するとともに、将来に向けた公共交通として、定時性・速達性が期待できる新交通システム等の導入も視野に入れたサービスレベル向上策について検討を行うことを目的とする。

2 調査フロー



3 調査圏域図



4 調査成果

- (1) 現状のバス利用実態から、鉄道を基軸とするバス路線の再編（フィーダー化）案を作成
- (2) 再編案をもとに、交通結節拠点を抽出
- (3) 再編条件（新駅整備など）の設定
- (4) フィーダー化したバス路線について、新交通システム導入の可能性を検討
⇒現時点において、直ちに新交通システムを導入できるだけの需要が見込める路線はないことから、バス路線のフィーダー化により、需要の掘り起こし、利用促進に努め、将来的に新交通システムへの転換を図りたい。

参考資料 別紙のとおり